

令和七年度 十一・十二月の詩

空は

木坂 涼

空は

降りてゆくことができないので

肩をたたくのに雨を使い

雲をタオルにする

雲は

浮かぶこときりできないので

服を着がえるのに太陽を使い

洗濯するのに風をまわす

『教室でよみたい詩』 民衆社より

おもいうかんだえやイラストをかいてみましょう。